



晴れやかに通り初め

2月24日 県道川棚有田線開通式

広報

1993

3

月号

No. 360

はさみ

今月の主な内容

- P 2~7 特集 基本構想
- P 8~9 畑ノ原窯跡
- P 10~11 町の話題
- P 12~13 みんなの広場
- P 14~15 みんなのスポーツ
- P 17 病気一口メモ
- P 18~21 暮らしの情報

町の人口 15,759人(2月末)

- 男 7,569人
- 女 8,190人
- 世帯数 4,065世帯
- 転入 25人
- 転出 20人
- 出生 13人
- 死亡 10人

あなたには見えませんか？

10年後のふるさとが

「活力と潤いにみちた

陶磁と緑のまち・波佐見」

をめざして

基本構想がまとまりました

平成三年度から作業を進めていました「波佐見町基本構想」がまとまりました。

基本構想は、十年サイクルで作っている町で最も基本になる長期構想です。町の皆さんの意見をアンケートで聞き、議会や各種団体などの代表二十人で構成された「振興計画審議会」で内容が審議され、二月八日の臨時町議会で議決承認されました。

今後は、この基本構想を基に、さらに事業内容を細かく見ていく、五年サイクルの基本計画を作ることになっていて、三月末にはできあがる予定です。

町の皆さんと行政とが一体となって、この新しい目標が達成できるようにしたいと思います。目標達成のための施策の内容を抜粋してお知らせします。

目標 1

活力と創造力のあるまちづくり

◆陶磁器産業を高付加価値化する

▼新技術の開発や導入、デザイン開発、マーケティング力の育成などを促進します。

▼新分野への進出や新製品開発の促進、ブラ

ンドの確立などに努め、高付加価値化を図ります。

▼情報センター機能や会議・研修機能を備えた「波佐見焼振興センター(仮称)」の整備



を図ります。

▼効率的な生産を行うため陶磁器産業の集約化、団地化を進めます。

▼若者の地元定着などを目的に、企業団地を整備し、優良企業の誘致に努めます。

◆ふるさとを守る農林業をつくる

「波佐見町農業ビジョン」をつくり、長期的視点に立って、立地条件を生かした個性ある農業の確立を図ります。

▼優良農用地の確保と生産・生活環境の整備を進め、基幹産業としての地位の確立を図ります。

▼生産性の向上を図るため、大区画圃場整備の実施や農用地の高度利用、高収益作物の作付け、大型農機具一貫作業体系の確立、農業生産組織の強化による農作業の受委託の推進、生産法人等の組織化を図ります。

▼なし、みかん、グリーンアスパラガス、茶、いちごなどの特産品の振興を図ります。

▼花き、施設野菜等新規特産品の開拓を推進します。

▼金山坑ハウス施設についてもその周年利用体系の確立をめざします。

▼バイオテクノロジーなどの先端技術の導入・普及を図るほか、経営感覚と技術力を持つ担い手・後継者の育成などに努め、競争力のある新しい農業をめざします。

▼林業は、林道網の計画的な整備や後継者の育成を進め、緑資源を育成・保全しながら、森林の持つ保養休養機能や林道網を生かし、自然とのふれあいの場をつくり出します。

◆魅力ある商業をつくる

商店街を生活文化創造の場、まとまりのあるにぎわいの場とするため、魅力ある中心商

業ゾーンをつくり、商業力の向上を図ります。

▼幹線道路沿いにワンストップ型ショッピング施設など新業態の商業施設の誘導に努めます。

▼立地条件を生かした流通拠点を整備します。

▼経営の合理化、近代化を進めるため、中小小売業者の経営指導を強化します。

◆やきものを生かす観光リゾートをつくる

やきもの、温泉、史跡、農業(産物)などを有効に組み合わせ、「やきものの町・波佐見」の特色を生かした体験型・滞在型の観光リゾート地づくりを進めます。

▼ハウステンボスなど近隣市町の観光リゾート施設との相乗効果を図り、広域的な観光ネットワークや観光ルートづくりを進めます。

▼観光協会を強化し、PR活動、情報提供機能の強化、宿泊施設の整備、誘客・受入れ体制を充実させます。

◆働きがいのある労働環境をつくる

働きがいのある労働環境をつくるため、職場環境の改善、労働条件に対する指導を進めます。

▼だけれどもが魅力を感じる企業をつくり出し、若者が地元に残れるようにします。

▼指導機関との連携や学校教育機関の有効活用により、中高年齢者や女性などの職業能力の開発に努めます。

◆賢い消費者をつくる

消費者の安全と権利が守られ、豊かで安定した消費生活がおくれるよう、複雑・多様化する社会経済環境に応じた消費者保護施策を推進し、啓発活動の充実や消費者団体の育成に努めます。

豊かな自然を生かした美しいまちづくり

◆やきものと緑が奏でる

絵になるまちをつくる

本町のすぐれた四季折々の自然景観を守り、やきものの伝統文化の継承と創造、田園風景の保全に努めます。潤いと安らぎに満ちた文化の香る景観づくりを進めます。

◆花と緑のネットワークをつくる

▼やきもの公園を継続して整備します。

▼ポケットパーク、沿道緑化、河川公園などを整備し、潤いの場、憩いの場をつくり出します。

▼花いっぱい運動や美化運動など幅広い町民運動を支援し、花と緑のあふれる美しいまちづくりを進めます。

◆快適な住環境をつくる

▼若者の定着を促すため、ゆとりのある良質な住宅・宅地の供給に努めるほか、既成市街地の再生や、老朽化した既設町営住宅の建て替えを計画的に進めます。

◆おいしい水を供給し、水を守る

▼町民生活や産業活動に不可欠な水が、町内全域にわたって安定した供給ができるよう水源の確保を図ります。

▼水道施設の統廃合、老朽配水管の更新、漏水の防止、施設管理の改善などを図ることによって、水道事業の健全な運営に努めます。

▼長期的展望に立って、公共下水道の整備に取り組むとともに、農業集落排水事業の推進、合併処理浄化槽の普及に努め、公衆衛生の向上と河川の水質保全、町の衛生環境を守ります。

▼浸水地区の解消を図るため、都市下水路の整備を計画的に進めます。

◆**まちを清潔にし、リサイクル社会をつくる**
増え続けるごみに対処するため、町民の協力のもと、分別収集や町ぐるみでのリサイクル運動の推進などを図って、ごみの再資源化、減量化を進めます。

▼ごみの処理処分体制、施設を整備充実し、増大化、多様化するごみの適正処理に努めます。

▼陶磁器産業から発生する水質汚濁や騒音、畜産業から発生する悪臭や水質汚濁などの産業公害に対する指導の強化を図ります。

生きがいを思いやりのあるまちづくり

◆生涯を健やかに生きる

▼町民の健康づくり意識を高め、一人ひとりが健康の大切さを自覚し、自らの主体的な健

康づくり活動を支援・促進します。

▼健康管理情報システムの充実、保健思想の普及啓発、保健指導・健診体制の充実を図



目標
4

豊かな心と文化を育むまなびづくり



ります。

▼休日・夜間の医療体制を充実します。

▼健康の維持・増進、疾病の予防から、治療リハビリテーションに至るまでの地域保健・医療体制の確立に取り組みます。

◆健康を支える拠点づくりを進める

総合保健・福祉センターを整備し、福祉、保健、医療の各機関の協力体制を進めます。

◆生き生きとした長寿社会をつくる

長寿社会の到来に対応して、地域社会全体、町民全体の問題として総合的な対策を検討し推進します。

▼健康の保持・増進はもとより、高齢者のもつ経験・技術が生かせる就労・社会参加の体制づくりに取り組みます。

▼寝たきり老人、痴呆性老人やひとり暮らし老人の増加に対応して、在宅福祉サービスや老人福祉施設の充実を図り、きめ細かな要援護・介護者対策の充実を図ります。

◆健全な児童、家庭を育てる

児童の健康と協調性、創造性を高めるため、児童公園等の遊び場の整備や相談・指導機能

の強化を図るとともに、家庭や地域の養育機能の向上に取り組みます。

▼延長保育や障害児保育など、保育内容の向上と施設の充実を図ります。

▼健康な母性づくりをはじめ、妊娠、出産、育児を通じた一貫した児童・母子保健活動の充実を図ります。

◆障害者(児)とともに歩む

障害の早期発見に努め、早期治療・療育体制の充実、在宅福祉サービスの充実に努めます。また、就業機会の拡大と障害者の利用を配慮した公共施設の整備や、安心して生活できる住宅の整備を促進します。

◆自立を促進する

自らの力だけでは生活できない人の生活の安定と自立を進めるため、相談指導体制の強化、就業の促進、資金の活用等を図ります。

◆暮らしの安定を守る

国民年金に対する相談体制を充実し、適用対象者の把握と加入促進に努めます。国民健康保険の被保険者に対する疾病予防、早期発見体制の充実や健康づくりを推進します。

◆自己を磨く生涯学習のまちをつくる

町民の主體的な学習活動を促進するため、学習機会の充実や団体への支援強化に努めます。地域生涯学習推進事業の継続実施、自治公民館活動の推進を図ります。

▼生涯学習のセンターを設置し、総合的な生涯学習推進体制の確立に努めます。

▼町民の多様な学習活動に対応するため、文

化ホール・公民館等を併設した町民総合会館、働く婦人の家、農村環境改善センターなど、社会教育関連施設の体系的な整備充実に取り組み、学校教育機関の有効活用を図ります。

◆たくましい子どもたちを育てる

幼稚園、小学校、中学校の一貫教育のもとで、一人ひとりの個性や適正を重視し、明日

明日の定住と交流を拓くまなびづくり



の波佐見の担い手にふさわしいたくましい児童・生徒を育てます。

▼情報化・国際化に即した教育内容・方法を充実させます。

▼校舎施設・設備の充実、適正配置、さらに学校給食センターの改築など教育環境の整備、改善に努めます。

◆青少年の夢と希望を広げる

次代を担う青少年が、その個性と可能性を伸ばし、人間性豊かな町民として育つよう、家庭、地域、学校が一体となった健全な社会づくりを推進します。

▼ボランティア活動など、青少年の自主的な団体活動や地域活動への参加や青少年リーダーの育成を図ります。

◆男女共生の社会をつくる

すべての女性がその能力を十分に発揮し、社会発展に貢献できるよう、就業のための環境整備や意識啓発を行い、男女共生の社会づくりを推進します。

◆生涯スポーツ・レクリエーションを進める

余暇時間の増大や健康づくり志向の高まりに対応して、「一人一スポーツ」を進めます。

▼スポーツグループの育成、スポーツイベントの充実を図ります。

▼既存のスポーツ施設の充実と専用施設の整備を図ります。

▼ウォーキングコースやキャンプ場など、野

外スポーツ・レクリエーション活動の場づくりを進めます。

◆まちの心を伝え、創造拠点をつくる

やきもの文化の創造と芸術文化活動を活発にするため、文化協会・グループの育成強化を進め、活動拠点としての町民総合会館を整備します。

▼国内外の芸術文化に触れる機会の拡大に努めます。

▼細ノ原窯跡をはじめとする古窯跡など、各種文化財の保存公開のための整備を図ります。

▼皿山人形浄瑠璃や浮立など、伝統芸能の保存・継承に努めます。

▼やきものを生かした街並み景観やモニメントなど、文化性豊かなまちづくりに努めます。

◆人と人の輪をグローバルに広げる

国際化に対応して、町民の国際性を育み、広い視野の人材を育成します。姉妹都市のブラジル・マウア市はもとより、内外の諸都市との交流を進め、国際性豊かなまちづくりを進めます。

◆余暇をたのしむ

自由時間、余暇時間の増大にともなって活発化する余暇活動を支援するため、「ゆとり宣言」に基づき、情報の提供、活動の場づくりを進めます。

◆計画的な土地利用を進める

「国土利用波佐見町計画」「都市計画」「農

目標

6

英知とエネルギーを結集するまちづくり



業振興地域整備計画」などとの調整を図り、自然的、社会経済的、歴史文化的条件を配慮し、用途地域を設定して計画的な土地利用を進めます。

◆にぎわいのある市街地をつくる

住宅、商店、工場の混在を解消するため、中心となる商店街をつくり、質の高い住宅地域を計画的につくるなど、にぎわいと風格のある快適な市街地づくりをめざします。

◆人々が集う

道路・交通ネットワークをつくる

県道佐世保嬉野線、川棚有田線のバイパス整備や町道の計画的な改修を進めます。歩行者専用道路、自転車道路の整備や、修景・緑化の推進など、快適な道路づくりに努めます。

◆安全なまちをつくる

婦人・少年防火クラブ等の育成を含め、町

民の防火・防災意識の啓発を進め、災害の未然防止に努めます。

▼消防施設の充実や消防水利の整備を進めます。

▼災害から町民の生命・財産を守ることを基本に、治山・治水対策を進めます。

▼交通安全対策、防犯体制の充実など、安全な町民生活の確保に努めます。

◆心が通う情報通信ネットワークをつくる

「地域情報化ビジョン」を策定し、本町にふさわしい地域情報ネットワークの整備を進めます。

◆まちの資源を守る

本町の風土、景観を形成してきた自然環境の保護・保全を進め、本町の地域資源を積極的に掘り起こし活用を図ります。

◆町民の英知とエネルギーを結集する

自治公民館を中心とする各種コミュニティ活動の活性化やまちづくり活動を進め、町民総参加のイベント、町民の郷土愛と連帯感に支えられた魅力あるまちづくりを進めます。

◆効率的な行財政運営を進める

計画的、総合的な施策展開のための組織づくりや、OA化の推進、職員の意識改革・能力開発などに努め、町民生活の向上を果たせる効率的な行政システムの確立を図ります。

▼情報公開制度や行政情報システムの導入などを検討し、町民の幅広い理解と自治意識の高揚を図ります。

▼自主財源の確保に努め、民間活力の活用も図りながら、計画的、安定的な財政運営を図ります。

◆個性が光る行政の文化化を進める

町民に親しまれ、ふれあいのある行政を進めるため、サイン計画などのCI事業の推進や、若手・女性職員の柔軟な感性の活用を進めます。

◆外からの刺激を生かす

まちづくりに関する情報の受発信能力の向上や、人的な交流などを推進し、町外からの英知とエネルギーをまちづくりに有効に活用します。



復元された4室の窯では実際にやきものを焼くことができる



階段状につくられた登窯の窯室跡



ガラス越しに見ることができる遺構展示施設

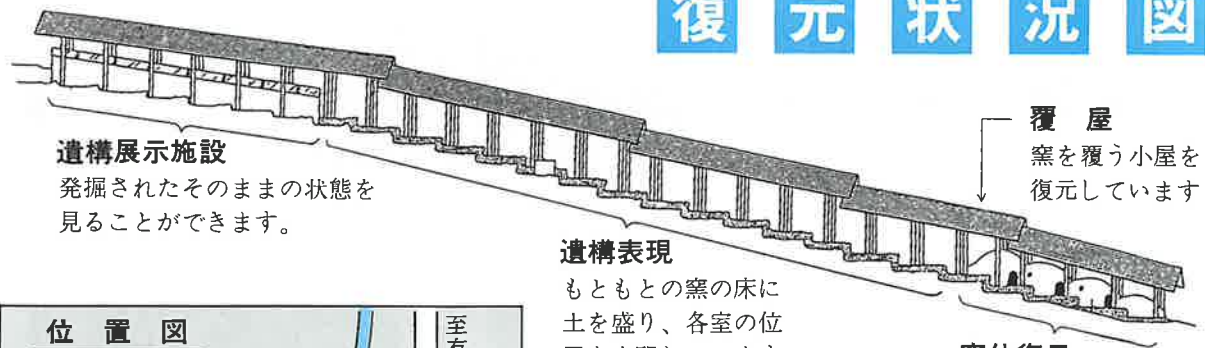
畑ノ原窯跡

よみがえった古窯

四百年前の窯跡を復元

村木郷の畑ノ原窯跡が復元整備され、四月から見学できるようになります。二カ年かけて整備されたもので、総事業費は約一億二千万円。ゴールデンウィークに開かれる陶器まつり期間に合わせて、この窯に実際に火を入れて、やきものを焼こうとの計画もあります。

復元状況図

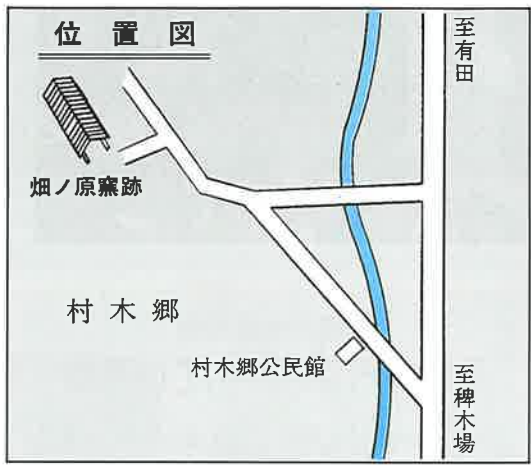


遺構展示施設
発掘されたそのままの状態を見ることができます。

覆屋
窯を覆う小屋を復元しています

遺構表現
もともとの窯の床に土を盛り、各室の位置を表現しています。

窯体復元
復元された窯です。ここで実際に陶磁器を焼くことができます。



畑ノ原窯跡の位置

稗木場郷岩崎から村木を通って有田方面に向かう稗木場有田線の途中から左に入ります。

四月から一般公開

平成三年度から二カ年事業として進めていた、村木郷の畑ノ原窯跡公園整備事業が三月中に完成し四月から一般公開されます。

町教育委員会では、町内に残る多くの窯跡を発掘調査し、波佐見焼がどのような過程でつくり出されてきたのかを調べています。過去の歴史を知らることによってこれからの発展につなげようとするものです。平成三年の調査では、中尾上登り窯が世界でも最も大きな登り窯の一つであること



昭和56年の発掘作業により窯跡の状況がはっきりわかった



昭和56年の発掘作業の状況。土の中から皿やトチンが数多く出てきている

がわかっていきます。これまでの調査の結果、畑ノ原窯跡は、波佐見で最も早くつくられた登り窯であることがわかっていきます。連房式階段状登り窯で、1599年、波佐見焼の陶祖李祐慶がつくった窯といわれています。全長は約六十尺。陶器も磁器も焼かれています。磁器が焼かれた窯としては国内でも古く、考古学的にも貴重なものです。保存状態が大変よく、昭和三十五年には長崎県の史跡に指定されました。

今回の整備事業は、四百年前の窯の状態を一部復元し、見学できるようにしています。そして、実際にまきを使ってやきものを焼くこともできるようになっています。復元したのは二十四室あった窯のうち四室ですが、そのほかの窯跡は、発掘したときのままの状態で残したり、当時の状況がわかるようになっていきます。このほかに展示工房や駐車場、トイレも整備されています。このような施設は全国的にも珍しく、見学者が増えることも予想されます。皆さんもぜひ一度ご覧ください。



目の前で聞いた最高の演奏 波佐見中に日フィルの6人

日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーのうち、コントラバス奏者の菅原光さんら若手6人が波佐見中学校を訪れました。

2月17日、前日の長崎公演を終え、この日の佐賀公演の前に立ち寄ったものです。ブラスバンド部員など約80人が集まった音楽室に姿を見せた一行は、さっそく中学校の教科書に出てくる「浜辺の歌」などを披露。いとも簡単に出てくる音色の素晴らしさに生徒たちもうっとりしていました。



県道川棚有田線 波佐見らしさが出ています

県道川棚有田線の改良工事とバイパス工事が完成し、2月24日、開通式が行われました。

道路の両側にはレンガ色にカラー舗装された歩道がつき、陶板を張ったモニュメントは波佐見らしさを出しています。川棚方面から有田方面へは、舞相を通らずに行けるようになりました。

式では、町長、議長、県北振興局長らがテープカットをし、親子3世代夫婦を先頭に通り初めをして完成を祝いました。



マナヅル飛来

2月20日夕方、鹿児島県出水市を飛び立って北帰行中のマナヅル67羽が、岳辺田の田原に降り立ちました。

ツルが立ち寄ったのは平成2年以来3年ぶり。中国北部やモンゴル、遠くはシベリアまで帰るため、飛行距離は2000キロから4000キロにも及びます。日本野鳥の会などでは、ツルの飛行経路を探るために人工衛星を使って確認を行っています。今回波佐見に立ち寄ったツルの中には、位置確認用の電波送信機をつけたツルもいたことが確認されています。

(写真提供/江口末男さん)



276人が晴れて修了

平成4年度の高齢者大学修了式が、3月5日、町公民館で開かれました。

今年の修了者は276人。毎月1回開かれています。皆勤の人も29人いました。以前行われていた高齢者教室から高齢者大学に変わって今年で10年目を迎えました。この間毎年受講した51人には精励賞が贈られています。

この日は、式のあと意見発表や芸能発表も行われ、1年間の締めくくりに参加者の顔も晴れ晴れしていました。



しめ縄づくりの実演も行われた川内郷

めかけました。水害やその後の河川工事ではなくなった蚶を呼び戻そうと、餌になる川ニナを約6000匹捕まえてきて川内川に放流したり、神社用のしめ縄を毎年20~30本作っていることなどが報告されました。

また、3月7日には永尾郷の報告会が永尾構造改善センターであり、「健全な心身を練り、文化的で人間性豊かな故郷づくり」を目標にした活動の内容が披露されました。家庭でも外でもみんなで行った「あいさつ運動」や、郷をあげて開かれた夏祭りのようななどが報告され、会場を訪れた人たちは熱心に聞き入っていました。

生涯学習は自治公民館から 川内・永尾で活動報告会

町では、生涯学習推進事業の一つとしてモデル自治公民館指定事業を行っています。平成3年度からの2年間、町から指定を受けていた、川内郷と永尾郷の活動報告会がこのほど行われました。

「励ましあう心で、近隣や地域社会の連帯を深めよう」をテーマにした川内郷の活動報告会は2月21日に開催。会場の川内郷農事集会所には郷関係者や来賓、ほかの地区の人たちが会場いっぱい詰

小学6年生9人による町民憲章の唱和（永尾郷）



あ
あ
婦
応
中
一
(す
な
お
句
会)

ひろば

お嬢さん
こんにちは

クラブ紹介

波佐見走友会

「新しい仲間ができ、よその人とも友達になれて楽しみが増えました」と話すのは代表の溝口勇さん。

走友会は、今から十二年ほど前に、走ることが好きな人たちが集まってつくられました。それ以来、他町で開かれる駅伝大会やロードレース大会にも参加しています。現在の会員は二十一人。二十八歳から五十三歳の人までいます。平均すると四十歳くらいです。井石や湯無田、折敷瀬、金屋、皿山など各地区の人がいます。職業もさまざまで、会社員や生地、絵付などの自営業の人などです。「以前は長距離はまったく走れなくて、会が発足した十二年前、四十歳を過ぎてから始めました。今では

マラソンも走ります」と話す会員もいます。

練習は、普段は各自それぞれ行っていますが、駅伝大会の前は一緒に練習します。毎日十キロ程度、自動車の通行の少ない道路を利用して走りこんでいます。

大会は、佐賀県蔵木や川棚、田平などの駅伝大会のほか、各地のロードレース大会に出場し、遠くは鹿児島県の大田に出かけている人もいます。溝口さんは「健康づくりにもいいし、楽しんで走っています。走ることが好きな人は一緒に走りたいですね」として「将来は、北海道や外国のレースにも出てみたいとの夢も持っています」と話してくれました。



喜々津 明子さん(22)

(川棚町)

親和銀行波佐見支店勤務

□趣味
ドライブ、旅行。

□特技
お菓子作り。

□好きな言葉
「初めの一步」

□波佐見について

波佐見に勤務してまだ1年も経ちませんが、波佐見の人たちと直接話してみても思うことは、いつも笑顔を絶やさず、明るく、元気な人が多いということです。工作中、時間に追われているときにそのようなお客様を見ると“ほっ”と気持ち落ち着き、頑張ることができそうです。

あかあさんがんぼって!!



婦人バレー大会でおかあさんの
応援にきていた

中 嶋 智 美 ちゃん(4歳)
(中尾郷)

— 勤労者体育センターにて —

みんなの

シリーズ 人



モデル公民館活動報告会を終えた
川内郷公民館長の

久松 政男 さん(62)
(川内郷)

「報告会では、展示品がどのくらい集まるか心配でしたが、九十四世帯の川内で百六十点もの作品が集まり嬉しかったですね」と久松さん。
川内郷ではさまざまな活動が行われましたが「特別なことをするのはなく、普段の活動の質を高める」ことに主眼がおかれました。久松さんは「同じハイキングでも、史跡の見学や植物の観察などを取り入れれば学習効果が上がります。発表のための活動ではなく、長く続けられる活動で質をどう高めるかを考えました」そして「今一番したいことは、『蛍の里』をつくることです。以前はたくさんいたんですが、平成二年の水害以来河川改修も行われ、蛍が全然いません。『蛍の住む里』として、川内を『蛍の住む明るい里』にしたいですね。将来は、愛好会を作って、蛍祭りができるようにするのが夢なんです」と話しています。

広報文芸

俳句

七草の家族揃ひし朝の膳 楠 本
孫と婿のむたはま明日の節料理 久保田 螢
若夫婦迎へてはまづ屠蘇祝 田崎 房
みこもり七嫁に届くる寒卵 疋田 美智子
心経の無の数いくつ初写経 松 添 英子
氏神の注連はの青き淑気か 村 川 富士江
初びきは亡夫の尺八吹きし夢 森 小夜子
旅照のいのちと思ひ層緑を汲む 山口 美由喜

(若葉句会)

小国富士雪を冠りて湯の煙 瀬 井 工
成人式の粧ひのまま祖母話べり 若 永 初枝
始て午しの湯煙こむる山の家 児 玉 綾子
袴履く水仙三木供華とせり 小 柳 夕二
枇杷の木の薔ざわがせて塞雀 洪 江 春代
葱引く手どめて見ゆる冬夕焼 岳 村 宣子
椽先に地蔵一休梅はほほ 田 島 静枝
路の臺一品添えし夕顔かな 中 村 八郎
杉山に鳥評して春の霜 馬 場 百枝

(すなお句会)

快汗

デッドヒート
そして
パフォーマンス

壮年駅伝大会



70チームが一齐にスタート



抜かれてたまるか！ 懸命のラストスパート（6区にて）



沿道を沸かせた「ねずみ小僧」と「岡っ引き」

町壮年駅伝大会が、二月二十八日、町内の各地区から七十チームが参加して開かれました。

南小学校前をスタートして、田ノ頭、宿、稗木場の田園地帯を周回して、農村環境改善センターをゴールとする七区間、九・六キロのコースで健脚を披露。沿道には家族など多くの応援も出て「頑張れ！頑張れ！」と選手に声援を送っていました。

レースは、昨年の優勝チームで、今年も前評判が高かった村木Aが二位湯無田Aに一

分以上の差をつけてゴール。二連覇で七回目の優勝を飾りました。

また、競争ばかりが目的ではないとばかりに、ねずみ小僧チームと岡っ引きチームが出場して沿道の話話をさらったり、相撲のまわし姿で走る人もいました。

主な成績は次のとおりです。

①村木A（山下憲治、一瀬秀隆、岩永清伸、谷村学、間繁春、細川和徳、浜本秋人）31分3秒
②湯無田A 32分7秒
③永尾白山神社 32分36秒
④協和うったち 32分39秒
⑤井石奉行 32分44秒
⑥乙長野A 32分56秒
⑦野々川A 33分34秒
⑧稗木場A 34分4秒
⑨金峰会A 34分14秒
⑩鬼木みそ 34分20秒
⑪志折A 34分47秒
⑫中尾土瓶 35分27

秒
⑬三股陶石 35分37秒
⑭岳辺田A 35分54秒
⑮大平A 35分55秒
⑯皿山紅 36分17秒
⑰舞親会A 36分25秒
⑱江良山 36分36秒
⑲平野 36分50秒
⑳川内 36分51秒
㉑甲長野A 37分12秒
㉒稗木場B 37分20秒
㉓若葉会 38分16秒
㉔壯風会 38分54秒
㉕竹馬会 39分32秒
㉖協和なはじめ 39分40秒
㉗湯無田B 39分57秒
㉘協和うちあげ 40分10秒
㉙稗木場ミドル 40分27秒
㉚大平B 40分38秒

▼最優秀選手賞 山下憲治（村木A）
▼敢闘賞 堀田勇（協和）、岩本和義（湯無田）、田崎信吉（稗木場）
▼高年齢チーム賞（選手7人の合計）
①稗木場ミドル（37歳）
②小樽B（307歳）
③小樽A（300歳）
▼大会賞 江良山（18位）

汗が弾けた スマッシュの応酬

152組304人が熱戦



第十一回波佐見町近接バドミントンダブルス選手権大会が、二月十四日、二十一日の二週にわたって勤労者体育センター、中学校体育館の二会場で開かれました。

今年の大会には、一般男子、一般女子、混合のそれぞれAクラス、Bクラスに、町内をはじめ、佐世保、長崎、大村、松浦などの県内からと、伊万里、武雄、有田、山内などの

佐賀県から百五十二組、三百四人が参加しました。

一般男子Aクラスは、大村から参加した全国高校チャンピオンの片岡直茂が、大学生の江藤祥一と組んで優勝。二年連続で学生が制しました。

地元勢は、混合Aクラスの松本・松尾組など三組が三位に入ったのが最高で、平成元年に一般女子で森・松尾組が優勝して以来決勝進出者がありませんが、若手が少ないことも影響しているようですが、今後の奮起が望まれます。

主な試合結果は次のとおりです。

- ▼一般男子Aクラス
準決勝 江藤・片岡 2-0 浜崎・浜口 (大村)
戸崎・永益 2-1 藤田・浦 (川棚)
決勝 江藤・片岡 2-0 戸崎・永益
▼一般男子Bクラス
準決勝 丸尾・金子 2-0 山下・佐野 (伊万里)
原・山口 2-0 中尾・志方 (佐世保)
決勝 丸尾・金子 2-0 原・山口
▼一般女子Aクラス
準決勝 木場・須賀 2-0 横山・川元 (佐世保)
吉田・福貞 2-0 和田・松村 (佐世保)
決勝 吉田・福貞 2-0 木場・須賀
- ▼一般女子Bクラス
準決勝 出口・瀬尾 2-0 伊藤・辻田 (大村)
江口・郡家 2-0 本田・佐藤 (大村)
決勝 江口・郡家 2-0 出口・瀬尾
▼混合Aクラス
準決勝 古場・古場 2-0 松本・松尾 (佐世保)
正尺・須賀 2-0 谷脇・末永 (佐世保)
決勝 正尺・須賀 2-0 古場・古場
▼混合Bクラス
準決勝 金子・原口 2-1 田中・野口 (伊万里)
山口・西田 2-0 丸尾・進藤 (伊万里)
決勝 金子・原口 2-0 山口・西田



■ 婦人バレーボール大会

平成5年3月7日
勤労者体育センター

予選リーグ

村木	2-1	永尾	尾田
鬼木	2-1	湯無	尾木
湯無	2-0	永村	尾木
鬼木	2-0	永村	尾木
湯無	2-1	永村	尾木
湯無	2-0	村木	尾木
稗木	2-0	アドバンス	野場
協和	2-0	乙長	野場
協和	2-0	稗木	野場
アドバンス	2-0	乙長	野場
稗木	2-0	乙長	野場
協和	2-1	アドバンス	野場

決勝

協和	2	(21-10)	1	鬼木
		(18-21)		
		(21-15)		

陶器まつり協賛
ロードレース大会

期日 4月29日(木)

種目

小学1~2年生(男子の部)	2km
小学1~2年生(女子の部)	2km
小学3~4年生(男子の部)	2km
小学3~4年生(女子の部)	2km
小学5~6年生(男子の部)	2km
小学5~6年生(女子の部)	2km
中学生女子	3km
中学生男子	8km
女子の部(一般・高校)	3km
女子の部(一般・高校)	10km
壮年女子(40歳以上)	3km
男子の部(一般・高校)	10km
壮年男子(40歳以上)	10km

参加申込 平成5年4月15日まで
波佐見郵便局区内私書箱5号
波佐見陶器まつり協賛ロードレース大会係へ
詳しくは、町公民館(☎85-2034)にお尋ねください。

桜まつり

波佐見陶器まつり

4月29日～5月5日

桜陶祭

4月11日

(午前10時～)

桜づつみ (温泉センター裏)

- ・かごかき競争
- ・子供相撲
- ・のびのび駅伝
- ・出店もいっぱい

出場者募集中(坂井英樹さん ☎85-2131へ)

4月3日～4日

(午前10時～)

中尾福社会館 (メイン会場)

- ・窯元めぐり
- ・ミニ陶器市
- ・窯元紹介
- ・登り窯作品即売
- ・農産物即売
- ・だご汁(4日のみ)

青少年の健全な育成を図るために

児童文化振興事業

波佐見町では、昭和60年に児童文化基金を設置し、基金の募集を始めました。以来、今年の3月で8年になります。これまでに多くの人たちの善意により3000万円を超える基金が寄せられました。

この基金の利息を運用して、青少年の情操を高める活動を手助けするのが児童文化振興事業です。活動を活発にし、青少年の情操をさらに高めるため、基金の目標を1億円として募集を続けています。

平成4年度の児童文化振興事業による補助事業は、「皿山人形浄瑠璃の児童生徒への伝承事業」「はさみ子ども劇場の児童・幼児の情操教育(劇団招へい等)」などで、大きな成果をあげています。



補助の内容は下表のとおりで、芸術鑑賞や青少年の文化・スポーツ活動などです。平成5年度に事業を計画している人(団体)は、町公民館にご相談ください。

児童文化振興事業の対象経費等

補助対象者 本町に在住する18歳未満の青少年(幼児含む)の健全な育成を図る目的で組織する団体など

補助事業の内容、対象経費、補助費

1. 交流事業

青少年が国内の個人および団体と交流を深め、心豊かな人材の育成を目的とする事業に要する交通費などの経費です。補助額は、対象経費の3分の2以内。

2. 特別な事業への支援事業

青少年の情操の寛容ならびに健全な心身の育成を目的とする事業に要する経費。補助額は、対象経費の3分の2以内。ただし、特に認められた場合は対象経費の範囲内。

3. その他、団体育成のため特に必要と認める事業

青少年の健全な育成を図る団体活動で、臨時的事業および運営に要する経費。この場合、全町的に組織された団体の事業および運営を優先。補助額は、対象経費の3分の2以内。

※私的目的のためのものは対象になりません。

※補助対象経費に、ほかからの助成があるときは対象外とします。



いぼ痔

東彼医師会 宮崎 忠恒 (波佐見町)



Q…どのような原因でいぼ痔になるのですか。

A…長時間の座り仕事、排便時の努責、咳、楽器の吹奏、排尿障害、妊娠等、腹圧のかかる状態が続くことが原因となります。また、アルコール飲料、下痢、頻回の浣腸、香辛料なども誘因となります。

Q…いぼ痔の症状を教えてください。

A…症状はさまざまで、無症状で経過する場合がありますが、炎症、びらん、裂創、脱出、かんとん(肛門外に脱出して、もどらなくなった状態)をおこした時に出血、疼痛等の症状が出現します。特に排便時に症状が顕著です。出血が多いと貧血に陥ります。

Q…どのような治療法がありますか。

A…無症状の場合は特に治療の必要はありませんが、症状が現われたら治療を行います。日常生活上の注意として排便時にきまさない、

Q…痔にはどのようなものがありますか。

A…いわゆる痔には痔核(いぼ痔)、裂肛(きれ痔)、痔瘻があります。この中で頻度が高いのがいぼ痔で、約七〇%の人にいぼ痔があるといわれています。

Q…どのような状態をいぼ痔というのですか。

A…肛門附近の静脈がうっ血をおこし、うっ血が長く続くと静脈のこぶが形成されます。この状態が痔核、いわゆる「いぼ痔」なのです。肛門の外側にできたのを外痔核、内側のものを内痔核といい、大半は内痔核が占めています。

長時間の同一姿勢を避ける、アルコール類、香辛料はさける、肛門部を清潔にする、毎日入浴をする等を実行してください。

保存療法として坐薬使用、便秘、下痢の治療、消炎剤の内服で大部分は軽快します。

以上の保存療法を行っても出血、疼痛、痔の脱出が改善されない場合に根治手術を行います。一部で行われている注射療法は、肛門の瘢痕狭窄をおこす危険性がありますので、良い治療法とはいえません。

Q…その他注意することは何ですか。

A…肛門部の異常に気付いても、恥かしさのため、診療をためらう人が多いと思われれます。肛門周辺の病気には直腸癌、潰瘍性大腸炎等、症状がよく似た重大な疾患があります。自分で痔と決めつけしないで、かかりつけの医師の診察を受けてください。

こんにはは 栄養士です

野菜のお話 (パートII)

一歳六カ月の健診から

今、町では一歳六カ月健診で「食事しらべ」を行い、一人ひとりのお母さんと子どもの食事について話し合っています。その話し合いの記録の中に、野菜、特に緑黄色野菜のとり方が少ないことが書いてありました。この時期、全体の約三〇%が保育園児で、残りは家庭保育児です。保育園児の場合、緑黄色野菜は給食の中で食べている以外、朝、夕の献立の中にはあまり使っていないようです。また、家庭保育児の内一四%は一日の献立の中に全く使ってありません。緑黄色野菜は

子どもの嫌いなものの一つによくあげられますが、大切なビタミン、ミネラル、セインの供給源です。子どもの好き嫌いは親がつくるとも言われ、まだまだお母さんの工夫の余地はあります。何でも食べられるように、食品の数を多くしていくことから始めましょう。

三月、四月の魚菜
せり、わらび、ふきのとう、
椎茸、菜の花、ふき、新牛蒡、
たけのこ、絹さや、紫キャベツ、白魚、サザエ、
サヨリ、タイ、アオヤギ、
サワラ

健康テレフォンプログラム

3 月	
月	インターフェロン
火	うさぎ跳びの弊害
水	アトピーと食事
木	目ヤニ
金	気になる口臭
土・日	女性の性欲減退

4 月	
月	お年寄りの旅行の注意
火	ハチにさされたら
水	子どもの口内炎
木	ホクロと癌
金	不安神経症
土・日	近頃多い性病ークラミジア

長崎 ☎ 0958-26-5511
佐世保 ☎ 0956-23-4300

役場は、土曜日はすべて休みです

町の機関(役場、公民館、給食センター)は、4月から土曜日はすべて休みです。

みなさんのご協力をお願いいたします。

危険物取扱者試験・準備講習会

試験の種類 乙種第4類、丙種

試験日時 6月20日(日)

試験場所 長崎県立大学、県立佐世保工業高校

受付期間 4月12日～4月23日

願書交付先 県北振興局など

試験準備講習会

日時 5月12日、13日(乙種第4類)

5月18日(丙種)

場所 佐世保市労働福祉センター(乙種第4類)

佐世保市消防局(丙種)

詳しくは、(財)消防試験研究センター長崎県支部(☎0958-22-5999)にお尋ねください。

銃砲刀剣類登録審査会

銃砲刀剣類の登録審査会が開かれます。

日時 6月11日 午後1時～3時

場所 県北振興局(佐世保市木場田町)

持参するもの ①当該銃砲刀剣類 ②刀剣類発見届

出済証 ③申請者本人の印鑑(認印でよい)

登録手数料

*登録証交付手数料 1件 5,200円

*登録証再交付手数料 1件 2,700円

詳しくは、長崎県文化課(☎0958-24-1111内線3383)にお尋ねください。

船員遺族のみなさんへ

職務上で死亡された商船の殉職船員遺児へ援護金が支給されます。

出生から高等学校を通常の期間により卒業するまでの期間、1人月額8,000円

別に、入学記念品代として小学校に入学したとき30,000円、中学校、高等学校に入学したとき、それぞれ10,000円贈呈。

申請、お問い合わせは、(財)日本殉職船員顕彰会(☎03-3234-0662)へ。

NHK学園の通信講座で学習を!!

NHK学園では、春期の生涯学習講座受講生を募集しています。

◇生涯学習講座(通信講座)

教養と趣味を深めるための毛筆「日常の書」、書道、硬筆、俳句、短歌、囲碁など72講座です。

申込受付 ～4月30日

詳しい案内書は

〒186-01 NHK学園 8E12係あて

ハガキにあなたの郵便番号、住所、氏名、電話番号を記入してご請求ください。

身体障害者のみなさん

運転免許を取得してみませんか

身体に障害のある人が運転免許を取得される際、費用の一部(16万円を限度)を県が助成します。

応募資格 身体障害者手帳1～4級の所持者で60歳未満の人

受付期間 3月26日まで

受付場所 役場または福祉事務所

詳しくは、県障害福祉課(☎0958-22-4676)にお尋ねください。

波佐見文化第6号

3月25日発売 1,000円

おもとめは、町公民館へ

ワープロ技術講習会

婦人の就業機会の拡大と就業条件の向上を目的として、一般事務の就業を希望される家庭婦人(初心者)を対象とした技術講習会が開かれます。

講習科目 ワープロ(3級受験を目標)

講習日時 5月24日～7月9日

(土、日、祝日を除く35日間)

講習場所 国際情報ビジネス専門学校

(佐世保市松浦町)

受付期間 4月1日から定数に達するまで受講申込書を発行

申込方法 国際情報ビジネス専門学校事務室に備え付けの受講申込書を提出してください。

詳しくは、長崎県婦人就業援助センター(☎0958-46-9030)にお尋ねください。

笑い・おどろき・感動タイム

仮装大賞

日時 3月21日午後2時～
場所 農村環境改善センター

国際運転免許証 取扱い窓口を拡大

申請取扱い場所

- * 警察本部運転免許課
- * 佐世保、島原、福江、有川、杵岐、巖原の各警察署

提出または添付書類

- * 運転免許証
- * 渡航証明書(旅券など)
- * 写真1枚(タテ5センチ、ヨコ4センチ)

申請から交付までの所要時間は、警察本部は即日(約30分)、そのほかの警察署は5日～10日です。



町の事業

2月に発注した町の工事をお知らせします。

- ▶ 鴻ノ巣公園園路排水未整備工事 154万円(小佐々建設)
- ▶ 町道下ノ名線舗装工事 236万円(西部道路)
- ▶ 町道ウツギ並線舗装工事 144万円(西部道路)
- ▶ 町道木場山線改良工事 185万円(恋塚建設)
- ▶ 町道金屋本線改良工事 535万円(小佐々建設)
- ▶ 町道牧ノ内線改良工事 515万円(恋塚建設)
- ▶ 下境野地区水路災害復旧工事 216万円(長島建設)
- ▶ 田別当地区水路災害復旧工事 139万円(山記建設)
- ▶ 助ノ尾地区水路災害復旧工事 159万円(百武建設)

国民年金保険料

4月から10,500円

国民年金の保険料が、4月から10,500円に引き上げられます(現行 9,700円)。付加月額額は10,900円です(現行10,100円)。

平成元年の国民年金法改正により、20歳を越える学生にも加入が義務付けられ、平成3年4月1日から実施されました。保険料は一般の人と同じです。本人の住民登録地の市町村で受け付けます。家族が代理で届け出ることもできます。

保険料を納めない、万一の事故のとき障害基礎年金や遺族年金などを受けられないばかりか、将来、老齢基礎年金さえ受けられないこともあります。

なお、生活が苦しくて保険料を納められない人は、保険料を免除する制度もあります。

詳しくは、役場年金係にお尋ねください。

狂犬病の予防接種・登録

次の日程で、予防接種・登録を行います。犬を飼っている人は必ず受けてください。

4月13日(火)

- 10:30～11:00 永尾改善センター(永尾)
- 11:10～11:30 三股公民館(三股)
- 11:45～12:00 小樽改善センター(小樽)
- 13:15～13:30 野々川公民館(野々川)
- 13:45～14:30 内海産業会館(湯無田)

4月14日(水)

- 10:30～10:45 下中尾停留所(中尾)
- 11:00～11:15 鬼木改善センター(鬼木)
- 11:30～12:00 勤労福祉会館(井石・湯無田)
- 13:15～13:45 折湯集落センター(折敷瀬)
- 13:55～14:30 町公民館(折敷瀬・金屋)

4月15日(木)

- 10:30～10:45 金屋公民館(金屋)
- 11:00～11:30 八島公民館(宿・稗木場)
- 11:45～12:00 村木コミュニティセンター(村木)
- 13:15～13:30 皿山公民館(皿山)
- 13:45～14:00 田ノ頭公民館(田ノ頭)
- 14:10～14:30 老人会館(川内)

4月16日(金)

- 10:15～10:30 波佐美神社下(岳辺田)
- 10:45～11:30 農村環境改善センター(乙長野)
- 11:45～12:00 甲長野公民館(甲長野)
- 13:00～13:15 協和公民館(協和)
- 13:30～13:45 火渡停留所(志折・平野)
- 14:00～14:45 宿コミュニティセンター(宿)

奨学生募集

県および町の奨学生を募集します

	波佐見町 奨学資金	長崎県育英会 奨学資金(大学)
志願資格	<ul style="list-style-type: none"> ○町内に住所がある人の子弟 ○学資の支弁が困難であると認められる人 ○他の団体から貸付を受けない人 ○高校(全日制) ○大学(短大は含み、大学院は除く) 	<ul style="list-style-type: none"> ○県内に住所があり、1年以上居住している人の子弟 ○学資の支弁が困難であると認められる人 ○大学(短大、大学院、専修学校は除く)
貸付金額 (月額)	<ul style="list-style-type: none"> ○高校10,000円 ○大学15,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ○国公立 1年 28,000円 ○私立 1年 34,000円 ○原則として1年生のみ対象
募集期間	5月28日(金)	5月10日(月)
申込先	町教育委員会管理課(役場内)	

長崎県育英会高等学校奨学生

- 志願資格** 高校全学年
- 貸付金額** [公立]12,000円(自宅)、17,000円(自宅外)
[私立]24,000円(自宅)、29,000円(自宅外)
- 申し込みは、長崎県育英会(☎0958-24-7501)へ
- ※詳しくは、長崎県育英会(0958-24-7501)へ
- ※日本育英会についても、学校でお尋ねください。

休日当番医

3月20日	岩永医院(東彼杵)0957(47)0014
21日	小島居病院(波佐見)(85)3408
28日	実松整形外科医院(東彼杵)0957(47)0278
4月4日	松尾医院(波佐見)(85)2001
11日	田淵医院(川棚)(82)2111
18日	鈴木病院(東彼杵)0957(46)0145
25日	中村内科医院(波佐見)(85)7325
29日	三島眼科医院(川棚)(82)4521

ぼしゅう

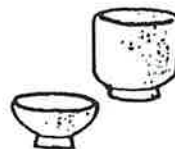
ろくろ・絵付け研修生

平成5年度伝統的工芸品産業振興事業による研修生を次の要領で募集します。

- ▶**募集期間** 3月20日～3月31日
- ▶**研修期間** 平成5年4月～平成6年3月
- ▶**研修資格** 波佐見焼産地に従事する人
- ▶**研修場所** 陶芸の館
- ▶**研修内容**

1. 絵付け研修生

- (イ) 研修部門 染付
- (ロ) 募集人員 20人
- (ハ) 受講料 2000円(工業組合員1000円)



2. ろくろ研修生

- (イ) 研修部門 手造り成形
- (ロ) 募集人員 15人
- (ハ) 受講料 4000円(工業組合員2000円)

詳しくは、波佐見陶磁器工業組合(☎85-3003)にお尋ねください。

海上保安学校学生

平成5年10月入校生

資格 高校卒業またはそれと同等以上で24歳までの人

受付期間 4月12日～4月20日

詳しくは、佐世保海上保安部管理課総務係にお尋ねください。(☎31-4842)

危険物安全週間推進標語

6月の第2週は危険物安全週間です。そこで、危険物災害の防止と危険物の貯蔵・取扱いの安全を呼びかける標語が募集されます。

応募方法 ハガキに標語(1枚に2点まで)、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、職業、電話番号を記入。1人4点まで。

応募締切 4月30日(必着)

応募先 〒857 佐世保市平瀬町9-2
佐世保市消防局予防課内
佐世保市危険物安全協会事務局

今月のこよみ

3 月 (弥 生)			
		9 (金)	高齢者大学開講式(町公民館 9:40~)
20 (土)	春分の日	10 (土)	公立学校休業日
21 (日)	仮装大賞(農村環境改善センター 14:00~) 西日本軟式野球郡大会(鴻ノ巣グラウンド)	11 (日)	桜まつり(温泉センター裏 河川公園)
22		12 (月)	
23 (火)	献血(役場 9:00~10:00、金鉱パッケージ10:15~11:45 西日本陶器12:00~13:00、波佐見中入口14:00~15:30) 平成5年度ナイター利用団体受付調整会(町公民館 18:00~)	13 (火)	糖尿病とつきあう会(農村環境改善センター 13:00~)
24 (水)	心配ごと相談(役場 13:00~16:00) 離乳食教室(農村環境改善センター 9:30~) 小中高等学校修了式	14 (水)	心配ごと相談(役場相談室 13:00~16:00)
25 (木)	リハビリの集い(町公民館 13:00~)	15 (木)	
26 (金)	不用犬回収日(役場 8:30~10:00)	16 (金)	食生活改善推進員総会(農村環境改善センター 13:00~)
27 (土)	役場閉庁 町ボランティア連絡協議会設立総会(町公民館 13:30~)	17 (土)	
28 (日)	婦人会総会(勤労者体育センター 9:00~) 全日本学童野球郡大会(鴻ノ巣グラウンド)	18 (日)	国体軟式野球郡大会(鴻ノ巣グラウンド) 社会福祉協議会法人化20周年記念 「ふれあい運動会」(勤労者体育センター 9:30~)
29 (月)		19 (月)	母親教室<母子手帳交付>(町公民館 9:30~11:00) 愛のテレホン子ども相談(☎85-2034 9:00~18:00)
30 (火)		20 (火)	長崎県自動車文庫巡回(町公民館 13:00~15:00) ナイター受付(町公民館 18:00~) ツベルクリン反応(農村環境改善センター 14:00~14:30)
31 (水)	心配ごと相談(役場相談室 13:00~16:00)		
4 月 (卯 月)			
1 (木)	健康相談(農村環境改善センター 9:30~11:00、 町公民館 13:30~15:00)	21 (水)	体育館利用調整会(町公民館 19:00~) 乳児相談(農村環境改善センター 9:30~11:30、 13:00~15:00) 心配ごと相談(役場相談室 13:00~16:00)
2 (金)		22 (木)	B C G(農村環境改善センター 14:00~14:30)
3 (土)	桜陶祭(中尾郷 ~4日)	23 (金)	ポリオ(勤労福祉会館 14:00~14:30)
4 (日)	県下9人制バレーボール大会(勤労者体育センター) 第2回児童合唱団定期演奏会(中央小学校講堂 14:00~) 町軟式野球リーグ戦(鴻ノ巣グラウンド)	24 (土)	
5 (月)	母親教室<母子手帳交付>(町公民館 9:30~11:00) 愛のテレホン子ども相談(☎85-2034 9:00~18:00)	25 (日)	母子寡婦福祉会総会(町公民館 10:00~)
6 (火)	第1回東彼杵郡町村会肉牛共進会 (広域早岐家畜市場 8:00~) 三種混合(農村環境改善センター 14:00~14:30) ナイター受付(町公民館 18:00~) 小中学校始業式	26 (月)	リハビリの集い(町公民館 13:00~)
7 (水)	人権相談(役場第1会議室 10:00~15:00) 心配ごと相談(役場相談室 13:00~16:00) 波佐見中学校入学式	27 (火)	
8 (木)	リハビリの集い(町公民館 13:00~15:30) 町内小学校入学式 波佐見高校入学式 年金相談(役場相談室 10:00~15:00)	28 (水)	心配ごと相談(役場相談室 13:00~16:00)
		29 (木)	みどりの日 波佐見陶器まつり(~5月5日) 陶器まつり協賛ロードレース大会(中学校前スタート 10:00~)
		30 (金)	

ストップ ザ・交通事故

1月から2月までに発生した町内の事故の状況をお知らせします。

- ・発生件数 10件 (+5)
 - ・死者 2人 (+2)
 - ・傷者 16人 (+11)
 - ・物損 29件 (+3)
 - ・飲酒運転検挙 2人
- ()は前年同月比

交通事故巡回相談

開催日 3月26日(金)
4月23日(金)
時間 10時~16時
開催場所 川棚町役場

善意の窓

○香典返しにかえて

- 稗木場郷 高村 松代様
- 御主人故高村芳光様
- 協和郷 里山 作男様
- 御母堂故里山ハルコ様
- 岳辺田郷 谷山 千代様
- 御主人故谷山佐藤治様
- 折敷瀬郷 古川 俊章様
- 御母堂故古川ワイ様
- 皿山郷 小柳 百枝様
- 御主人故小柳勇吉様

来月の納金

- 国民年金保険料
- 水道使用料

- 川内郷 口石ハル子様
- 御母堂故口石ヒデ様
- 乙長野郷 田尻 フヂ様
- 御主人故田尻寛様
- 鬼木郷 豊島 コノ様
- 御母堂故北村シヲ様
- 宿郷 山下 恵美様
- 御主人故山下忠勝様
- 村木郷 中尾 和丈様
- 御母堂故中尾ヤツ様
- 永尾郷 太田 一弘様
- 御祖父故太田満以様
- 宿郷 山口 正次様
- 御祖父故山口耕作様
- 田ノ頭郷 峯 等様
- 御夫人故峯ツタエ様
- 井石郷 野田ミツ子様
- 御主人故野田榮様
- 田ノ頭郷 山道 福松様
- 御母堂故山道ギン様
- 永尾郷 小佐々タツ様
- 御主人故小佐々熊雄様
- 鬼木郷 田中 隆様
- 御母堂故田中キマ様

- お見舞返しにかえて
- 村木郷 岩永ヒサエ様
- 宿郷 福田 寛吾様
- 折敷瀬郷 増田 静雄様
- 金一封
- 岳辺田郷壮年部様
- (交通安全もちつき大会時
バザー収益金の一部を)
- 匿名希望者

以上の方々から本町社会福祉事業資金に寄付していただきました。

それぞれの寄付に対し厚くお礼申し上げます。

波佐見町社会福祉協議会

- 児童文化基金
- アナンダ幼稚園園友会様

○町民総合会館建設寄付金

匿名希望者
以上の方々から寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

お誕生おめでとう

- | 子の名 | 保護者 | 住所 |
|-------|-----|------|
| 井手里奈子 | 末美 | 湯無田郷 |
| 鶴池祥江 | 和慶 | 湯無田郷 |
| 松本愛莉 | 清隆 | 湯無田郷 |
| 寺崎友香里 | 誠也 | 湯無田郷 |
| 松田稜 | 悟 | 鬼木郷 |
| 山下太一郎 | 守 | 鬼木郷 |

ご結婚おめでとう

- | | | |
|-------|----|------|
| 山川 綾香 | 勝 | 鬼木郷 |
| 谷口 雄三 | 雅孝 | 折敷瀬郷 |
| 猿渡 栗 | 慎市 | 宿郷 |
| 山口 耕大 | 昌彰 | 宿郷 |
| 辻 ありさ | 弘美 | 宿郷 |
| 谷口 勢 | 嘉人 | 川内郷 |
| 松島 秀悟 | 秀海 | 協和郷 |

おくやみ申し上げます

- | | |
|-------|------|
| 森 博喜 | 田ノ頭郷 |
| 吉永貴志子 | 川棚町 |
| 原山 紳哉 | 長崎市 |
| 北村 陽子 | 協和郷 |

- | | | |
|--------|------|-----|
| 山元 孝男 | 東京都 | 89歳 |
| 太田 聡子 | 中尾郷 | 85歳 |
| 森 英信 | 嬉野町 | 86歳 |
| 横石 優子 | 永尾郷 | 83歳 |
| 原田 賢一 | 鬼木郷 | 90歳 |
| 中原 順子 | 東彼杵町 | 83歳 |
| 吉川 功規 | 宿郷 | 61歳 |
| 白川 清美 | 嬉野町 | 89歳 |
| 前田 又作 | 湯無田郷 | 89歳 |
| 福田 トミ | 金屋郷 | 85歳 |
| 中尾 増男 | 折敷瀬郷 | 76歳 |
| 三岳 キミ | 宿郷 | 86歳 |
| 中尾 土松 | 村木郷 | 90歳 |
| 大串 初子 | 稗木場郷 | 83歳 |
| 添村 モキ | 稗木場郷 | 90歳 |
| 石峰 ハツエ | 川内郷 | 72歳 |
| 山口 秀美 | 甲長野郷 | 61歳 |
| 近藤 シヲ | 志折郷 | 89歳 |

ごちろ編集室

三月は卒業シーズン。中学校や高校、大学を卒業する人は、それぞれの目指す道に向かって気持ち新たに季節です。職場でも、四月になると新入社員が入ってきて環境がリフレッシュされます。迎える側は「今年はどうな人が入るんだろう」と思い、就職する人は「がんばるぞ」との思いと「どんな職場だろう」との不安があるでしょう。

年度が変わると、町の仕事も新しい予算に基づいて行われます。そして、今月号の特集にあるように今後十年間の方向を見定める「基本構想」も新しい一年目を迎えます。世の中は目まぐるしく移り変わっていますが、十年後に振り返ってみて「波佐見に住んでいて本当に良かった」といえるような町にしたいですね。

(小林)